

## 日吉台地下壕保存の会

## 会 報

## 第18号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

223 横浜市港北区下田町3-15-27

寺田方 TEL.045-562-1282

(年会費)一口千円で、一口以上

郵便振込(口座番号)横浜2-62997

(加入者名)日吉台地下壕保存の会

日吉台地下壕保存の会  
第4回総会

第4回総会で挨拶される新会長の鮫島重俊氏

## 目 次 頁

○新会長挨拶	1
○第1回幹事会報告	2
○第2回幹事会報告	2
○地下壕を見学された方 からのお便り	3
○地下壕見学会感想文	3
○編集後記	4

## 新会長挨拶

鮫島 重俊

永戸前会長にくらべると経験も識見も劣るのだがなと考えながら、会長になることを承諾した。寺田事務局長の誠実さと実行力をよく知っているの、その陰になって何かできるかも知れぬと、なんとなく思ったわけだ。

この会も啓蒙の段階から、運動の段階へと徐々に進んできたようだ。何かを成し遂げると、やはり世間の人達も注目してくれる。注目されると運動も発展する。もはや地域行政当局との協力なくしては、前へ進めなくなっている。

今年こそ運動の成果が形になる芽を育てたいものと思う。塾当局ともよく話し合って、私たちの意のあるところ、即ち戦争という愚行を再び繰り返さないための「記念物」を残す仕事をやっているのだということを理解してもらいたいと思う。ペンとペンの慶應義塾には、その素地が十分にあるものと信ずる。皆様の御協力をお願いする次第である。

## 第一回幹事会△△報告生口

日時 五月一三日午後五時半  
場所 慶應義塾  
藤山記念館中会議室

## 報告事項

事務局長より

一、会員数〓四八一名  
(五月一二日現在)

二、四月一八日：保存の会第四回総会。

参加者四〇数名。

三、四月二九日：千葉県木更津の第2海軍航空廠地下

壕調査に参加(寺田)。

四、五月三日：大聖院近くの地下壕の徹底調査。

二〇数名参加。

五、五月五日：元海軍通信隊の方と幹事三人で蟹が谷

の地下壕を調査。

六、五月一三日：会報第一七号発行。

## 議事

一、一九九二年度の具体的な活動計画について

1 地下壕の見学会の予定

松代大本営地下壕の見

学会を、八月六日～七日に行う。

2 保存運動の進め方

市長及び県知事への地下壕保存の要請の結果について

どの様に保存するか写真を作成したらどうか(蕪木幹事)。

すでに要請文の中に示してあるが、もっと煮つめる必要があるかも知れない(事務局長)。

3 調査活動について  
また調べることがかなりある(事務局長)。

4 イベント開催について  
八月一五日前後に地下壕展をどこか(川崎市平和記念館など)で開いたらどうか。

5 パンフレットの発行予定  
夏休みに原稿を書き、出来るだけ早く発行する。

6 会報第一八号の発行予定  
松代の地下壕の見学会の案内を入れて六月末に発行する。

## 第二回幹事会△△報告生口

日時 六月二四日  
場所 慶應義塾  
藤山記念館中会議室

## 報告事項

事務局長より

一、会員数〓四八九名  
(六月二二日現在)

二、六月二八日：大学生協東京地連平和文レク委員会主催で八王子浅川の地下工場跡を見学予定。

三、三つの教職員団体、二つのPTA、その他多くの会員の方から日吉台地下壕を見学したいという要望が寄せられたが、事情を話してお断りした。

## 議事

一、松代の地下壕の見学会

日時：八月七日(金)

〓八月八日(土)

集合：JR長野駅改札口前、午後一時三〇分

宿泊：松代の民宿「六文銭」

電話：0262-78-2619

参加費：一〇〇〇円。

宿泊代：一泊二食付で、六二〇〇円

交通費：上野～長野間

乗車券三八一〇円

特急券二七七〇円

往復で、一三二六〇円

その他長野～松代間の交通費が若干かかる。

見学会：八月七日一時半より

案内者：松代大本営の保存をすすめる会の事務局

長「大日方悦夫氏」

二、地下壕関連の第三回全国交流集会について

今年も会として賛同する。

賛同金五千円。

日時：七月二五日(土)

〓七月二六日(日)

場所：呉「音戸ロッジ」

集会参加条件：

全員宿泊〓一泊二日

食事付き

参加費〓三千円

宿泊交流費〓約七千円

申込期限〓七月一〇日

当日徴収

三、パンフレットの発行

原稿は夏休みに仕上げて  
幹事の方に校正をお願いし  
一〇月ごろには発行する。

## 地下壕を見学 された方から のお便り

(前略) P K O、次第に足  
を踏み入れるようで、また、  
嫌な戦争、軍事態勢になりつ  
つあるように思われ、地下壕  
の必要性が出て来るのではな  
いかと心配しております。

(中略) 大学時代(昭和二〇  
年代)考古学の発掘調査に参  
加した経験より、穴掘りは大  
変なことと感じました。まし  
て地下壕の大工事は大変な労  
力と思いました。今のような  
機械化でなく手作業、充分な  
食事も得られないような時期  
ではなみたいでないことでは  
なかったかと思ひ、体をこわ  
したり、病氣、死亡というこ  
とになったと思ひやるとき、  
本当に平和の有難さを感じま  
した。(後略)。

一九九一年一二月八日実施  
地下壕見学寸△△  
感想文

とうよこ歩く会

○建設機会もない時代、一  
年という突貫工事であれだけ  
の施設を完成させるとは驚き  
です。

沿線開発で各地の由緒ある  
旧跡が消滅する恐れがありま  
す。特に戦跡である防空壕な  
どはなくなっています。なか  
でも歴史的に太平洋戦争で大  
きな役割を果たした日吉台地  
下壕の保存は、戦争を知らな  
い戦後世代や、次代の人々に  
戦争と平和を考えさせる施設  
として役立たせることは、非  
常に価値あることです。

○思ったより小規模であつ  
た。ただし、これだけの工事  
を短期間でやった裏には、数  
々の問題(現在、また当時)  
があつたものと考ええる。出来  
ればその説明を願う。

川崎の北部に住んでいたが、  
日吉の話は父母から何も聞い  
ない。

よほど情報処置が  
なされていたのか? 地下壕  
を何らかの形態で保存するこ  
とには賛成である。

○当初は地下に洞窟がある  
との情報であつたため、ケー  
ビングとしての興味から見学  
会に参加した。その後、資料  
を読ませて頂き「とてもそん  
なものじゃない」という事が  
わかった。

「これだけの施設を短期間  
で完成させた権力と、その下  
で犠牲になった人達、これに  
対する対応なしに戦後は終わ  
らない」という感じがします。  
是非、朝鮮半島、中国大陸  
の方々にかけた迷惑も併せて  
展示できるようにものが出来  
ればと思います。

○予想外に広く迷路のよう  
に感じました。こんな身近な  
ところに地下司令部があり、  
今も残っていることに驚きま  
した。誰もが安全に見学でき  
るように保存し、貴重な遺跡  
として残していきたいと思ひ  
ます。

○この場所にこのような大  
きな地下壕が残っていること  
に驚きました。戦争の残した  
ものを保存するということは  
よくあるのですが、物体を保  
存するだけではなく、何故そ  
んなものを作ったのか、何故  
そんなことをしたのか、とい  
う資料も併せて保存すべきで  
す。

○ともすると忘れがちにな  
る戦後、または戦争というも  
のに、穴(地下壕)を見学さ  
せて頂き、考え深くまた重苦  
しいものを感じました。歴史  
上の人物が身近にせまり、時  
の流れまた穴から思いを巡ら  
し、日本及び世界を考えてみ  
るにつけ、改めて人の愚かさ  
を感じた次第です。

身近に戦争の傷跡を体験で  
きるものは、首都圏では少な  
いと思ひます。保存し、見学  
してもらうことはとても意義  
あることだと考えます。

○まず、中が広くて、造り  
がしっかりしていることに驚  
いた。あの地下施設から下さ

れた指令によつて、多くの人々が死んでいったことを思うと、胸がしめつけられる思いがした。

地下壕は是非保存すべきだと思う。具体的には入会させて預いてから考えたい。

○とても素晴らしいものであり、みんなにも公開したらよいと思う。このままではもったいない。出入口を正式に設け、公開して欲しい

○太平洋戦争の遺物ともいふべき地下壕があると聞き、戦争を体験したものの一人として是非見学してみたいと思いました。

思っていたより広さ、大きさ、長さ、ただただ驚きました。日吉の人々、戦死した兵士の皆様、親の思いなど、改めて考えさせられました。

戦争と平和を考える原点として、是非、世界平和のために役に立てて頂きたく、保存して欲しいと思います。

○一九三七年生まれ、幼年時代すべて戦争。小学生で東

京大空襲と横浜大空襲と見えました。被害者の立場から戦争は反対ですが、これも大切だと思います。教職の立場から、子供に平和を教えることの難しさを感じつつ、広島

の修学旅行を実施したこともあります。

「難しくなつても、平和を伝えていくこと」のためにも知っていることの語り伝えることの大切さを切に感じます。地下壕は第二次大戦のモニュメントとして保存すべきと思います。行政、民間団体への働きかけをつよくすべきです。

It was a very educational experience. The Japanese was difficult to understand. But it was nice to see that people are interested in the past.

I think your reasons for keeping. The care open are all correct. We must not dwell on the past but we cannot forget it either.

○想像していたよりもきれいで、過去の技術に驚いた。未来に向けて建設するとき、過去のものを壊すのは仕方が無いこともあるが、悪い思い出を忘れるために放置してしまふのは気が引ける。何か、区切りをつける方法はないものか。

○地下壕は、とても昔のものとは思えず、実際に使えるような気がしてならず、多くの人達にみせてあげたいと思う気持ちです。戦争の大変さがわかる気持ちです。

○玉砕した硫黄島の壕を二年前に見せてもらった。異様な感じを禁じえない内部だった。指令元の日吉壕はどうだったのか知りたくて、恐らく前線とは違いすぎる程、戦争とは思えない程の壕の中を予想して入った。

予想通りコンクリート整備で単なる壕であったが、ここからの指令で大勢が死んでいったことを思うと、やはり硫黄島の壕と関係してくる。と

にかく複雑な気持ちだ。

地下壕は保存すべきと思う。保存することで、何故広島原爆ドームを残すのかと、同じ意味を子供達に伝えたいと思う。

#### 鉅細集木 後記

◆総会も無事終わり、やれやれといった処で、いろいろな行事が重なり活動が余りやれなかった。

◆地下壕の見学会をやつて欲しいとの要望が多くあったが、やれないのが残念である。

◆その分保存運動や調査に力を入れたと思う。

◆PKOが成立したが、将来どのようになっていくか心配である。

◆一人一人が、家族や国や世界の将来の事を真剣に考えなければならぬ時代ではないかと思う。